

1 学校教育目標						
未来に希望を抱き、常に学び前進し続ける生徒を育成するため、次の目標を掲げる。						
1		よく考え知性を磨く	知性			
2		学びあい品性を高める	品性			
3		すすんで体力をつける	体力			
2 めざす学校像、児童・生徒像・教師像						
学校像	愛情と信頼の絆に結ばれた潤いのある学校をめざす。 質の高い教育を提供することによって、すべての生徒が学ぶ喜びを実感できる向学の気風に満ちた学校をめざす。それは、通いたい生徒、通わせたい保護者、力になりたい地域、生徒を愛する教師が共につくりあげる学校である。					
児童・生徒像	夢と規律と向上心に満ちた生徒をめざす。 話を聞く態度 規律を守る態度 挨拶を欠かさない態度 への指導の充実が不可欠である。					
教師像	常に新鮮な熱意、豊かな人間性、プロの授業力を備え、向上心を持ち続ける教師 瑞々しい感性・柔軟な考え・苦勞をいとわない向上心は、子どもの心を育て、質の高い学力を定着させ、学校を元気にする。生徒を育てることを教師の使命と自覚し、責任感を持ち、常に全力で、意欲的に取り組むことが重要である。					
3 学校の現状および前年度の成果と課題						
学校 (1) 学校評価で「学校の雰囲気」が前年度以上に良くなったとの回答が62人(324人)から123人(325人)に倍増した。しかし、「分かる授業」のA・B評価の合計が21.8%に対し、C・Dの合計は78.2%にのぼる。前年度、授業改善には力を入れてきたが、今年度も重要課題と受け止める。 (2) 学校情報の発信では、学級だより、学年だよりの発行。学校だよりは学校協力者はもとより、学区内の町会・自治会各家庭にも回覧板をとおし伝えている。学校ホームページは、ほぼ毎日更新し、一日あたりの検索数は平均35回程度である。 (3) 学校図書館支援員と学校図書館ボランティアにより学校図書館整備に顕著な成果をあげた。開館時間の拡張、放課後学習の定着化の他、2月には足立区中央図書館主催の区内小学校の学校図書館ボランティア見学会で多くの関係者から評価を得た。今年度は、生徒へのオリエンテーションの実施、図書委員会への啓発活動・ブッカー講習会、読書推進週間の企画等を課題とする。						
生徒 (1) ボランティア活動は、生徒会担当教員が生徒会を指導し、全校生徒に呼びかける方式で定着し、本年度の参加生徒は年間延べ819名に及んだ。本校では活動に際し必ず教員が引率にあたっている。 (2) 生徒会を中心に「足立区一きれいな学校」を目標に、各教室の掲示物、整備状況は、確実に前進した。生徒の作品を、西中ギャラリーとして掲示しているが、美術部生徒に負うところも大きい。 (3) 学校行事では、全校生徒が達成感をもち、終えることができた。学校評価でも、肯定評価が最も高い項目である。限られた時間内で、充実した内容を指導していくことが課題である。						
教師 (1) 指導力があり自信を持って授業や学級経営を展開している。学校評価でも担任の先生が丁寧に指導してくれた。教職員の指導・努力が伝わる一年であった。一方、「先生の一言で思い悩む」生徒もいた等の指摘もあり、生徒との関わりには一層の努力を要する。 (2) 部活動には、部活動顧問が献身的にかかわり、生徒の健全育成に努めてきた。 (3) 区教育委員会授業改善研究指定校として2年間の研究を終えることができた。データに基づく授業改善、意欲を高める授業改善をテーマに研究をすすめたが、本校独自の研究スタイルとして定着した『事前協議会』は今後も継続していきたい。この2年間の成果をそれぞれ研究集録としてまとめた。						
保護者・地域 2回目となる保護者・地域・教員・生徒による全校美化活動には138名の参加があった。中高連携では従前からの足立工高での4回の体験学習の他に、足立工高生徒が本校でボランティア活動も実施した。小学校との連携では、フェスタスタッフとしてボランティア参加(2校)、生徒会役員交流(3校)、職場体験学習(2校)を実施した。今後は、小学校での「赤ペン先生」など生徒交流を推進する。避難所訓練ボランティア参加からさらにすすめ、D級ポンプを活用した少年消防隊への参加を促す。						
4 重点的な取組事項						
番号	内 容	実施期間				
		19	20	21	22	23
1	新学習指導要領の主旨を生かした確かな学力					
2	子どもとの信頼関係に基づく生徒指導の充実					
3	教職員の専門性・資質・人間性の向上					
4	教育環境の整備					
5	豊かな成長を図る地域協働型の学校経営の推進					

4 21年度の重点目標

重点的な取組事項 - 1			新学習指導要領の主旨を生かした、確かな学力の定着と向上
A 今年度の成果目標		達成基準	
分かる授業・達成感のある授業・次が待ち遠しい授業。		新学習指導要領全面実施への対応。	
B 目標実現に向けた取組			
項目	達成基準	具体的な方策	
校内研修会の充実	研究授業は校内研も含め5回。	本校における新学習指導要領の展開の研究。	
言語活動の充実	人間尊重。知的好奇心高揚。	家庭との連携及び全教科指導により推進。	
家庭学習・放課後学習充実	家庭学習の定着。	家庭学習、放課後学習の推進。	
重点的な取組事項 - 2			子どもとの信頼関係に基づく生徒指導の充実
A 今年度の成果目標		達成基準	
安全・安心・充実の学校生活の基盤整備		不登校生徒数の半減。	
B 目標実現に向けた取組			
項目	達成基準	具体的な方策	
未然の生活指導の強化	各学年での実施。	エンカウンター、コーチング等の導入。	
花と歌と挨拶いっぱい運動	花コン、合唱コン、全生徒挨拶	植栽活動、校歌指導、全教員による挨拶指導。	
教育相談態勢の強化。	不登校生との登校復帰。	悩み事相談実施。S C・諸機関と連携強化。	
重点的な取組事項 - 3			教職員の専門性・資質・人間性の向上
A 今年度の成果目標		達成基準	
実践的課題解決に取り組み、自らの職能成長を図る		「授業内容は理解」でA B評価計70%以上	
B 目標実現に向けた取組			
項目	達成基準	具体的な方策	
教科及び領域の授業研究	日々の授業の工夫・改善。	新学習指導要領をふまえ授業改善の実施。	
意図的・計画的OJT推進	学習・生活・折衝・組織貢献能力	4能力育成をOJT推進担当を中心に推進。	
経験や職層に応じた研修	西新井中教員として職務従事。	リーダー養成研修。若手教職員の育成。	
重点的な取組事項 - 4			教育環境の整備
A 今年度の成果目標		達成基準	
潤いのある学校環境づくり		未使用スペースの整備と積極的活用。	
B 目標実現に向けた取組			
項目	達成基準	具体的な方策	
学校図書館の充実	利用生徒の50%増加。	支援員、ボランティア、教員の連携態勢。	
施設・設備・校内掲示の充実	掲示物配慮。円滑な学習活動。	少人数教室、実技教科、カウンセリング室。	
放課後学習教室の推進	活用生徒年間1000人以上	学習支援ボランティアの活用	
重点的な取組事項 - 5			豊かな成長を図る地域協働型の学校経営の推進
A 今年度の成果目標		達成基準	
保護者・地域とともに歩む学校		地区対等での顕彰対象となる。	
B 目標実現に向けた取組			
項目	達成基準	具体的な方策	
小中連携・中高連携の推進	具体的方策の実施	生徒会交流・職場体験・赤ペン先生派遣等。	
地域連携ボランティア推進	参加生徒数延べ700人以上	青少年員、地区対、地元消防団等との連携。	
学校関係者評価の実施	学校関係者評価の実施	文科省・区教委ガイドラインに基づき実施。	